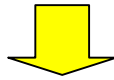


「ワーク・ライフ・バランス関連調査」報告書を踏まえた 今後の検討すべき課題（たたき台）

1 結婚について

- 結婚していない理由で最も多いのは「適当な相手にめぐり合えない」
- 雇用不安、収入不安による結婚の躊躇
- 将来のワーク・ライフ・バランスを心配
- 行政主催の婚活への「安心感」



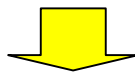
【検討すべき課題】

結婚を希望しているが、結婚していない若者への支援

- ① 若者が希望をかなえられるような教育、就労、生活、自立に向けた支援
- ② ワーク・ライフ・バランスが確保できるとのメッセージ発信
- ③ 若者の出会いへの支援

2 子育てについて

- 女性にとって子育ては切実、どこか人ごとの男性
- 子どもを持つと考えたときの主な不安は、経済的負担の増加
- 男性の育児休業取得は「職場への迷惑」と「利用しにくい雰囲気」が課題
- 夫の家事分担は補助的で、妻に家事負担が偏っている傾向
- 男女共同参画の意識は浸透してきているものの、依然として性別役割分業の意識が根強い



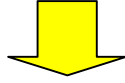
【検討すべき課題】

男女共同参画の視点を交えた行政、企業、地域、NPOなど社会全体での子育て支援

- ① 育児の負担感軽減や子育て経験不足解消
- ② 男性のロールモデルづくりなど男性への啓発
- ③ 企業トップに対する発想転換を求めるアプローチ
- ④ 仕事と子育ての両立支援を進めることにより企業メリットを感じられるような施策
- ⑤ 配偶者や家族の援助を受けられない状況にあるときも安心して子育てができる多様な支援

3 ワーク・ライフ・バランスについて

- 理想は家庭生活を優先したいが、現実には仕事が優先
- 勤務形態の多様化、休暇の取得促進、子育てサービス支援を求める声
- 県のあらゆる施策との関連を再考し、相乗効果の得られる取組の必要性



【検討すべき課題】

労働、経済、教育、福祉をはじめとした県民への普及啓発

- ① 働き方の改革と職場環境の改善
- ② 女性が出産や子育てのために仕事をやめなくてもいいような支援
- ③ 出産や子育て後に円滑に仕事に復帰できるような支援
- ④ 家庭や職場における男女共同参画の推進
- ⑤ 働く意欲のある人が社会参加し、持続可能で活力のある経済社会の実現